

2005年9月12日（月）、13日（火） 月例会

「ダビデの戦略から学ぶ」

Ⅱサムエル5：17～25

イントロ：

1. 落胆する人と、しない人

- (1) 現実的な「前提」を持っているか、いないか。
- (2) 人生全体を貫く世界観を持っているか、いないか。

2. 米国での体験

- (1) セレブレーションに予定されていたゲストが来られなくなった。
- (2) 千葉テレビの放映中止。
- (3) いくつかのことを認識した。

1. 落胆

2. 問いかけと叫び

3. 新しい幻と力

4. 人生とは戦いの連続である。これが「主の戦い」であることを認識。

3. 聖書は不思議な書である。ある日突然、特定の箇所が迫ってくる。

TS：ダビデの戦略から学ぶ

1. 戦争の背景

- (1) ダビデの王権が栄える。これは、イスラエルの民を祝福するため。
- (2) ダビデが王位に就いてから、ペリシテ人が攻撃してきた。目標は、エルサレム。
- (3) このパターンは、主イエスの公生涯にも見える。荒野の試み。
- (4) クリスマス生活にも、同じパターンが再現される。
- (5) 一度ではなく、二度も三度もやってくる。

2. 第一回目の戦い

- (1) サウルとダビデの間には、大きな相違があった。ダビデは主の臨在を求める。
ペリシテ人はそれを知らない。
- (2) ダビデはレファイムの谷の要害に立てこもり、主の御旨を求める。
- (3) ダビデの問い。
- (4) 主からの答え。
- (5) 圧倒的な勝利。

Iサムエル4章では、神の箱が奪われた。その逆が起こっている。

2005年9月12日（月）、13日（火） 月例会

3. 第二回目の戦い

(1) 再度、同じような戦いが起こる。

(2) ダビデは、同じ戦略を用いていない。

例話：番組、メッセージ、聖地旅行で同じことをしない。

清められた手抜き。方策ではなく、主の臨在が勝利をもたらす。

(3) ダビデの問い。

(4) 主からの答え。

「バルサム樹の林の上から後進の音が聞こえたら、その時、あなたは攻め上れ」

(5) 主の軍勢が先に立って進んでいる。

(6) 圧倒的な勝利。

結論：

1. 人生は主の戦いである。

2. 攻めるに時があり、待つに時がある。